

2020年2月4日

CDPより「気候変動」でA-、「水セキュリティ」で最高評価のA評価を獲得

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、このたび、環境情報開示に取り組む国際的な非営利団体 CDP^{*1}により、「気候変動」分野でA-と評価されるとともに、「水セキュリティ」分野で最高評価のAと高く評価されましたので、お知らせいたします。

当社は、取り組むべき重要課題（マテリアリティ）として「環境への配慮」を特定し、環境保護に貢献するため「[シオノギグループ EHS^{*2}ポリシー](#)」に基づいて行動目標を定めています。特に、気候変動、水リスク、AMR^{*3}（薬剤耐性）対策に注力し、当社の医薬品の研究開発、生産、販売等すべての事業活動のみならず、協働するサプライチェーンにも活動を展開しております。

今回の調査では、温室効果ガス排出量の削減、水資源の保護、洪水のリスク低減、ならびに、AMR 対策の一環として抗菌薬の環境への排出を軽減できるような排水の適正管理、などの取り組みが評価されたものと考えております。

塩野義製薬は、「創薬型製薬企業として社会とともに成長し続ける」ことをビジョンとして掲げ、今後も「環境への配慮」に関する活動を継続し、当社を取り巻く全てのステークホルダーの皆さまから将来にわたって必要とされる企業となれるよう、取り組んでまいります。



以上

【お問合せ先】

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6209-7885

<参考>

※1 CDP について

CDP は、環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家や主要購買企業の要請に基づき、企業や自治体に、気候変動対策、水資源保護、森林保全などの環境問題対策に関して情報開示を求め、また、それを通じてその対策を促すことを主たる活動としている非営利組織です。2019年度は、運用資産規模で 96 兆米ドルに達する 525 強の機関投資家と購買力規模で 3.6 兆米ドルに達する 125 の購買企業が CDP の活動に賛同し、世界の時価総額 50%強となる 8,400 強の企業と世界各地の 920 強の自治体が CDP を通じて環境問題対策に関する情報開示を行いました。CDP は、現在、環境問題に関して世界で最も有益な情報を提供する情報開示プラットフォームの一つとなっています。また、CDP は We Mean Business 連合の創設メンバーです。詳しくは、次の Web サイトを参照ください。 <https://cdp.net/en>

※2 EHS : Environment, Health and Safety (環境ならびに安全衛生)

当社グループの環境活動を含む EHS 活動については「EHS 報告書」をご参照ください。

<http://www.shionogi.co.jp/company/csr/act/eco/index.html>

※3 AMR (薬剤耐性) : Antimicrobial Resistance